

1. 件名：「島根原子力発電所 2 号炉の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(146)」

2. 日時：令和 3 年 3 月 3 日（水） 16 時 15 分～ 17 時 45 分

3. 場所：原子力規制庁 9 階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、江崎企画調査官、名倉安全管理調査官※、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、千明主任安全審査官※、菅谷技術研究調査官、磯田係員、松末技術参与、日南川技術参与※

中国電力株式会社：山田常務執行役員 他 12 名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・ 島根原子力発電所 2 号炉 耐震重要施設及び常設重大事故等対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価（コメント回答）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁クマガエです。
0:00:03	それでは、島根原子力発電所 2 号炉耐震重要施設及び常設重大事故対処施設。
0:00:08	状態事故等対象施設の地盤及び周辺斜面の安定性評価のヒアリングを始めたいと思います。
0:00:14	それではよろしく願いいたします。
0:00:19	はい、中国電力カシマです。
0:00:21	先週の水曜日の基礎地盤の安定性に関するヒアリングの中で、一度御説明させていただきようについて大きく 2 点ポイントがあったと認識としてはしております。1 点がプラント側と地盤はで改良地盤、
0:00:36	の物性の評価に差異があること。
0:00:39	あわせて、一/二千を超える日傾斜のコーダ 2 のこの詳細設計の引き継ぐか引き続き変わらないかとそういった大きく 2 点のポイントがあったと思います。こちらにつきまして改めて社内に持ち帰ってこの度資料として反映しております。
0:00:56	ての基盤物につきましてはプラントがどう整合を図るという形で改めてヨシツグを見直したもので再計算をしております。併せて結果につきましては一/二千を超える結果になりましたけれども、こちら、
0:01:12	詳細の後段の詳細設計のほうに反映するという旨の記載を資料のほうに取りまとめて参りましたので、この度逆T擁壁と。
0:01:22	基礎の安定性に関する部分のみの抜粋でございますが資料作って取りまとめておりますので、これから説明させていただきたいと思います。
0:01:34	中国電力のフジムラです。
0:01:37	まず、資料の確認をさせていただきます。
0:01:40	今回は、右肩No.EP081 回 01 のコメント回答資料の一部となります。
0:01:47	不足がないか御説明お願いします。
0:01:51	規制庁クマガエです。準備資料そろっておりますよろしくお願いします。
0:01:58	中国電力のフジムラです。
0:01:59	それでは、コメント回答資料を用いてご説明させていただきますと、1 ページをお願いします。
0:02:08	1 ページでは 1 月 29 日の審査会合での指摘事項に対します回答方針を記載しております。
0:02:16	1 月 29 日の審査会合では、防波壁について傾斜が生じた場合の各部位の構造成立性を見通しを説明することのコメント板いただいておりましたが、回答

	方針といたしまして、評価基準値の目安である一/二千を上回る傾斜が生じた場合におきましても、
0:02:34	貿易の構造が成立する見通しがあることを確認します。
0:02:38	2 ページをお願いします。
0:02:43	2 ページでは、
0:02:44	基礎地盤安定性評価におけます主な変更点を示しております。
0:02:49	1 月 29 日の審査会合では応益逆T溶液の滑り安定性評価におきましては保守的な評価の観点から、
0:02:58	地盤改良による共同増加は見込まないこととし、
0:03:01	解析用物性値、位置は埋戻どう
0:03:04	掘削刷りを利用して設定しておりました。
0:03:08	動的解析に基づいて基礎底面の傾斜を評価した結果、
0:03:12	評価基準値の目安であります一/二千を上回る結果となりました。
0:03:17	その後、2 月 18 日の審査会合におきまして、全応力解析と有効応力解析の結果を用いて照査をした結果、
0:03:26	基礎底面の傾斜を考慮しても、防波壁は構造整理することを確認しました。
0:03:31	また、全応力解析と有効応力解析の解析結果を比較した結果、
0:03:36	解析条件に保守性のある全応力解析の特徴により、
0:03:40	基礎底面の傾斜が大きくなっていると判断しました。
0:03:44	そこで、今回の資料では防波壁の構造成立性に関わる審査との整合性を図るため、
0:03:50	動力解析におけます、改良地盤の解析を精緻を
0:03:55	有効応力解析で用いました物性値に見直しまして、
0:03:59	滑り安全率は支持力及び傾斜を算定いたします。
0:04:04	以降の資料では解析用物性値等の設定、設計条件や解析条件をお示しします。
0:04:10	3 ページをお願いします。
0:04:17	3 ページが 4 ページでは、前回のヒアリング資料におけます商工性のうち、本日の御説明班員を青枠でお示しております。
0:04:26	頭から順に変更箇所についで御説明させていただきます。
0:04:30	5 ページをお願いします。
0:04:35	5 ページから 8 ページでは評価概要を示しております。
0:04:39	7 ページをお願いします。
0:04:44	7 ページは三条及び 38 条に関します確認内容を示しております。

0:04:50	今回、三条第1項の表の下の行におきまして評価基準値の目安を超えた場合は基礎底面の傾斜を考慮しても、施設の構造成立性が確保されることを確認するという文章に修正しております。
0:05:04	また、施設の詳細設計段階におきまして、傾斜を考慮した場合におきましても、
0:05:10	施設の機能が損なわれる恐れがないように設計する旨を追記しております。
0:05:15	三条2項の上の行におきましても同様の内容の修正をしております。
0:05:20	10ページをお願いします。
0:05:27	10ページから11ページでは貿易逆T擁壁の改良地盤に用います物性値についてお示ししております。
0:05:35	液位逆T擁壁の直下の地盤につきましては、液状化を抑制するため、
0:05:40	薬液注入工法により地盤改良を実施しておりますが、
0:05:44	この改良地盤の解析用物性値につきましては、防波壁の構造についての設計方針及び構造成立性の審査で用いておりました設計基準を参照して設定いたします。
0:05:56	11ページをお願いします。
0:06:02	11ページでは防波壁の構造についての設計方針及び構造成立性の審査で用いておりました設計値をお示ししております。
0:06:12	平均逆T擁壁直下の改良地盤につきましては、こちらの表の赤枠の設計値を採用します。
0:06:18	13ページをお願いします。
0:06:24	13ページから14ページでは貿易逆T溶液の解析用岩盤分類図と解析用要素分割図を示しております。
0:06:33	おはよう地盤の物性値の変更に伴いまして、改良地盤のモデルを修正しております。
0:06:38	17ページをお願いします。
0:06:46	17ページから18ページでは解析用物性値の設定方法とその値を示しております。
0:06:53	常任赤字でお示しております通り貿易逆T擁壁の改良地盤につきましては、
0:06:59	設計値等用いて解析用物性値を設定し、表に追記しております。
0:07:05	具体的には、設計思想を記載しております密度や強度特性動的変形のうち、G0。
0:07:12	ポアソン比につきましては、FLIPで使用している物性と同時に、設定しております。
0:07:19	静的変形特性につきましては、

0:07:21	次に弾性係数は 18 ページの下の※5 に赤色で記載しております。
0:07:27	一般式による監査を行い、
0:07:30	静ポアソン比をどうポアソン比とどっちの設計値に設定しております。
0:07:36	G/G0 曲線と、
0:07:39	時ガンマ曲線につきましては、改良前の埋戻しの特性を維持すると考えて埋め戻しのと同じ式で設定しております。
0:07:48	20 ページをお願いします。
0:07:56	20 ページでは基礎底面の傾斜におけます評価基準値の目安を示しております。
0:08:02	基礎底面の傾斜の評価基準値の目安につきましては、前回と同様、審査ガイドの見直しであります 2000 分の 1 を設定します。
0:08:12	23 ページをお願いします。
0:08:20	23 ページからは、改良地盤の物性値の変更に伴い、動的解析による評価結果を示しております。
0:08:28	23 ページでは、防波壁逆Tを費の平均強度における滑り安全率を示しておりますが、平均強度を用いた滑り安全率は 1.5 を上回ることを確認しました。
0:08:40	24 ページをお願いします。
0:08:44	24 ページでは平均強度を用いた滑り安全率のうち、最初に対しまして強度のばらつきを考慮して評価を行った結果を示しております。
0:08:54	ばらつきを考慮した場合におきましても、滑り安全率は 1.5 を上回ることを確認しました。
0:09:00	25 ページをお願いします。
0:09:05	25 ページでは、地震時最大接地圧の評価結果を示しております。
0:09:10	逆TOB機能改良地盤物性値を変更した場合におきましても、地震時最大接地圧は評価基準値を下回っていることから施設の基礎地盤は十分な支持力を有しています。
0:09:22	27 ページをお願いします。
0:09:29	27 ページでは貿易の基礎底面におきます最大所教員を示しております。
0:09:35	液位逆Tを駅の改良地盤の物性値を修正して解析を行いました結果、最大傾斜は 158 分の 1 となりました。
0:09:44	貿易逆T応益につきましては、最大傾斜が評価基準値の目安を上回っていることから、
0:09:51	基礎底面の傾斜による廃棄の照査を行い、基礎底面の傾斜を考慮しても、排液の構造成立性が確保される見通しがあることを確認しました。
0:10:01	なお一つ、施設の詳細設計段階におきましては、

0:10:05	傾斜を考慮した場合におきましても、施設の機能が損なわれる恐れがないように設計します。
0:10:11	33 ページをお願いします。
0:10:22	33 ページでは、地震動による最大傾斜に地殻変動解析による最大傾斜を重ね合わせた結果を表にお示しております。
0:10:31	地殻変動解析による最大傾斜を重ね合わせた場合におきましても、排液逆T擁壁につきましては、最大傾斜が評価基準値の目安を上回っていることから、基礎底面の傾斜による防波壁の照査を行い、基礎底面の傾斜を考慮しても、
0:10:46	貿易の構造成立性が確保される見通しがあることを確認しました。
0:10:51	また、施設の詳細設計段階におきましては、
0:10:55	傾斜を考慮した場合におきましても、
0:10:57	施設の損なわれる恐れがないように設計します。
0:11:01	35 ページをお願いします。
0:11:06	はい。
0:11:06	35 ページでは、
0:11:08	基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価のまとめを示しております。
0:11:13	該当する答弁ごとに確認内容わかるように記載を修正しております。
0:11:18	36 ページをお願いします。
0:11:24	36 ページ以降では基礎底面の傾斜による廃棄の構造成立性につきまして、第 948 回の審査会合における資料抜粋しております。
0:11:35	前回のヒアリング資料では、各部位の
0:11:38	調査結果の内容が不足しておりましたので、調査結果のページの抜粋を追加しております。
0:11:48	すみません、中国電力カシマです。この資料で 1 点は補足させていただきますと、今回は補足資料としまして、2 月 18 日に引越し審議いただいて審査会合資料をそのままお付けしておりますので、今回改めてですね、108。
0:12:04	58 分の 1 という発生した経営者に対して、重力解析で同じやり方ですね、改めて部材の安定性のアンカーそれと 4 月に対して同じ評価をした結果、いずれについて目標値を下回るという結果を
0:12:20	確認してございますので、こちらの資料の範囲につきましてですねまた
0:12:25	どのような範囲の仕方をさせていただきたいかということもあわせてですねご協議させていただきたいと考えております。
0:12:31	説明のほうは以上です。
0:12:38	規制庁クマガエですはい御説明ありがとうございます。

0:12:48	では、資料の内容についてですね、ちょっと確認をさせていただければと思います。
0:12:58	最初に
0:12:59	17 ページのところ、今回物性値を
0:13:03	変更されると。
0:13:05	いうことで表をつけられているんですけども。
0:13:08	ちなみにこの
0:13:09	解析用物性値の表の位置付けなんですけど、これ
0:13:14	基礎地盤の安定性評価の中でこの解析用物性値っていうのを示されてるんですが、これは、
0:13:20	その地盤の安定性評価だけで使われるんです。周辺斜面とかそこら辺でも使われるものなんでしょうか、そこら辺の位置付け整理はどうされてるんでしょうか。
0:13:31	中国電力のユリです。すいません 17 ページ 18 ページの物性値一覧表につきましては基礎地盤も周辺者もメモ同一の表ということで整理しております。ただ改良地盤の 2 につきましては、今回新たに設定しましたけども、
0:13:47	周辺斜面のほうで出てきませんので、
0:13:50	結果として、解析結果には使わないといったことになるかと考えてます。以上です。
0:13:57	規制庁クマガエです。
0:13:58	これ今基礎地盤の安定性評価の中の項目として、
0:14:02	説明されてますので、
0:14:05	もし周辺斜面のほうにも使われるという今の御説明であればですね、そういったこともきちんとですね。
0:14:11	示していただくような形にさせていただかないとわかりませんので、
0:14:16	お願いいたします。
0:14:21	中国電力のユリです。承知しました。以上です。
0:14:44	規制庁クマガエです。
0:14:46	どうぞ。
0:14:47	それでちょっと 17 ページのところ確認なんですけども。
0:14:52	ここで、
0:14:57	示されてるものについては
0:14:59	すべて評価だけじゃなくて指示とかそこら辺の
0:15:03	すべてのところで用いられると思うんですけども。
0:15:09	今回ここで、

0:15:12	等設計値という形ですね。
0:15:14	改良地盤のところについて、
0:15:17	それぞれ、
0:15:18	提示されてるんですけども。
0:15:20	御設計だのほかのところはですね対耐慣用値ですか、
0:15:25	実際試験を用いたですね、与えなどで示されてるんですけども、御設計として、
0:15:32	ちょっと位置付けが変わるかどうかと思うんですけども、そこら辺はどういうように考えてですね、その設計値を用いるというふうにされたんでしょうか。
0:15:57	はい、中国電力のヨシツグでございます。
0:16:00	今回ここにつきましては改良地盤の物性値のところ、今後詳細設計段階でお示していくものでございますけれども、構造成立性として今お示している数字でございますので詳細設計段階でこの辺りの数字。
0:16:17	今後等お示していくということで今設定値という記載をさせていただいております。
0:16:24	以上です。
0:16:27	規制庁クマガエです。
0:16:28	設置許可の段階での審査の中ではここはどういう扱いになってございます。
0:16:36	後任にならないとそこら辺の詳細設計の
0:16:39	数字ってのは、
0:16:40	確認されないということであれば、この許可のときはどのようにその妥当性などについては説明されるんでしょう。
0:16:54	あ、すみません、中国電力のユリです。
0:16:57	こちらフリップでのその値を使っている関係でちょっと書き方として設計値として記載してるんですけども。
0:17:06	物性の設定自体はですね、例えば乗ろうVsの事情でございましたり、か慣用的な一般式を用いた設定になっておりますので、そういった詳細のところをちょっと書けてないんですけども。
0:17:22	今の設置許可の段階でも使用できる物性だと考えております。以上です。
0:17:30	規制庁クマガエです。
0:17:33	この設計値っていうふうには書いてるけど実際は慣用値を用いているということなんですが、そこをどういう
0:17:41	違いがあるんです。
0:17:42	その書き間違いですか。

0:17:49	はい、中国電力のユリです。ちょっと一つ一つ御説明させていただければと思うんですけども。
0:17:57	まず左のほうから物理特性の方なんですけれどもこちら設計値って記載してるんですけども。
0:18:05	このあたりにつきましては埋戻し動と同じ絵と 2.11 という値を使っておりまして、
0:18:11	これは埋戻しどうももとの改良する前の埋戻し度自体がよく締め固まったものになりますので、間隙自体が少ないとそれを埋めるように薬液注入で開をするわけですから、
0:18:26	密度としては改良前と概ね同等だろうという考え方で 2.11 に設定しております。
0:18:35	撓曲動特性につきましては、一般式に基づきまして、PS 検層のあの試験の結果から得と換算して出しておりますので、ちょっとそういったところは詳しく書いてないんですけどそういった説明が可能と考えてます。
0:18:50	静的変形特性につきましてはポアソン比につきましては、動ポアソンと一緒にこれカイダの設計して書いてありますけど慣用値を使っておりまして、
0:19:00	正弾性係数につきましては、18 ページの※5 で記載しておりますけども、こちら一般式を用いまして、／損益からか判断して出しております。
0:19:11	抵当あと動的変形特性の G0 でございますけどもこれは先ほど申し上げましたログ S の事情ということで、これも一般的なんですけど Vs 自体は PS 検層からも出しました試験値になっております。
0:19:25	減衰特性とあと動的変形のうちの地盤ありゼロなんですけど、こちらは薬液注入工法だっということを考えるとですね、ももとの埋戻し炉の前ひずみ依存特性を維持しているものと考えておりますので、
0:19:42	これはももとの埋戻し炉と同値のものを設定しております。
0:19:46	そういった考え方なので、ちょっと出席設計値っていうことは、
0:19:50	被災が誤解を招くような記載になっておりますので修正していきたいと考えております。以上です。
0:20:01	規制庁クマガエです。
0:20:05	本カシマ設計士とかれてるんですけど実際は慣用値ですとか、
0:20:10	試験機を用いたり、
0:20:12	そういったことで、
0:20:14	実際行われてるのであればですね、きちんとそこはそのような説明をですねしていただきたいと思っておりますので、
0:20:21	そこはきちんとですね、

0:20:24	そういった説明をお願いいたします。
0:20:28	津波これ。
0:20:29	11 ページとの関係ですと、
0:20:31	ちょっと
0:20:32	一部、
0:20:34	数字違ったりはするんですけど。
0:20:38	設定の考え方としては
0:20:41	11 ページで示されているような
0:20:44	値ですとか、そこら辺の
0:20:49	設定の考え方値では、
0:20:52	同じなんでしょうか。11 ページと 17 ページだとちょっとものが違ったりするんですけど。
0:20:58	この関連はどういうふうな管理になってるんでしょうか。
0:21:04	はい、中国電力のユリです。先ほどあとクマガエさんがおっしゃいました。物性設定の根拠につきましてはちょっと新たに資料化して御説明したいと思います。
0:21:16	11 ページと 18 ページとの関連でございますけれども、基本的には今おっしゃったように、考え方は一緒でございます、若干端数処理の関係とかそういったところで数値が違っておりますのでそこもあわせて御説明したいと思います。以上です。
0:21:35	中国電力の清水です。少し補足させていただきますと今回です、ね最初の冒頭、説明しました通り、2 ページで御説明しました通り、
0:21:49	貿易構造成立性に関わる審査との整合をとるという観点からです、ねちょっと 11 ページのデータ、これ実際構造成立性面的にお示したデータですけど、こことを A と 1 せい一致というか整合しているということもです、ね、重要なポイントかなということで、
0:22:05	今回ちょっとこういう整理になっております。その中でです、ね言葉の使い方さめます設計値という言葉を使ってしまったのでちょっと勾配を招くような格好になっておりますけど基本的にはです、ね減についてとった試験結果それから一般値今あの丘の物性と同じように設定しておりますので、
0:22:22	先ほど言いました通り、この物性については改めて御説明させていただければと思います。以上です。
0:22:36	規制庁クマガエです。
0:22:38	ちなみに 43 ページのところとかでは、
0:22:44	構造成立性の時の

0:22:46	動的FM解析に有効応力解析の条件として、
0:22:51	その逆Tを引き直下の
0:22:53	改良地盤についてはPS検層結果を用いた剛性を解析用物性値として設定している。
0:22:59	あるんですけども。
0:23:01	ここも考え方は整合されてるんでしょうか。
0:23:04	PS検層結果に基づいた
0:23:07	導いた。
0:23:09	考え方とかっていうのはそこら辺の説明っていうのは、
0:23:12	ありました。ありますでしょうか。
0:23:17	中国電力のユリです。先ほどちょっと口頭で御説明をしたんですけど、例えば動的変形特性の時0アナログS字状で設定してるんですけども、VsがPS検層結果ということで、えっとFLIPのほうもフラッシュのほうも同じような設定で考え方成功しております。以上です。
0:23:38	規制庁クマガエです。
0:23:40	そういった説明っていうの
0:23:43	ただ、
0:23:44	PS検層結果を踏まえたものとかっていうのは、
0:23:49	逆Tわけじゃないようなところの改良地盤のところでは、それぞれ
0:23:54	データとかも示されて説明されたかと思うんですけども、今回そのような説明っていうのは、
0:23:59	ないんでしょうか。
0:24:03	中国電力のユリです。今回資料としておつけしておりませんが、そう急いで説明性の観点から新たに資料を追加して説明していきたいと考えております。以上です。
0:24:34	規制庁クマガエです。
0:24:40	ちょっと21ページのところでは
0:24:43	赤枠が考慮されてるのがですね、改良地盤の①から③と、
0:24:48	いうふうにされてるんですけど、④を外されてるんですけども、これは、
0:24:54	今回の
0:24:56	当等時は①から④に分けたものを今回①から③に、
0:25:02	区分をし直してるんでしょうか、この辺はどのような考え方で、
0:25:06	変更されたりとかされてるんですか、同じなんでしょうか。
0:25:11	中国電力のユリです。

0:25:14	③と④の違いはですね。VSのPS検層の結果自体は同じ値となっておりますので、ちょっとフラッシュの観点からは、同じような物性というか③のほうが保守的な物性になるので、
0:25:29	それを使用しております。そういった関係で③④統合してモデル化してございます。以上です。
0:25:42	規制庁クマガエです。そこは一部統合されてるとのことなんですよ。そこは
0:25:48	きちんと御説明いただければと思いますけども、あとでちょっともう1点、メインですけども。
0:25:56	ちなみにこの23ページ24ページのところで、
0:25:59	すぐ最小滑り安全率、それぞれ
0:26:02	計算されてます。ここでは、
0:26:04	つまり
0:26:06	改良地盤の値っていうのは、
0:26:10	この費増見ると、埋戻でも離農な対応を使っているかのようにも見えますが、
0:26:17	わかる地盤の数字を使ってるんでしょうか。そこはどうされてるんでしょうか。
0:26:25	事実関係どうなってるんでしょうか。
0:26:29	すみません、中国電力のユリです。23ページ24ページのところが半年以上ちょっと埋戻でも里道になってしまっておりますこちらはちょっとご起立閉じ修正いたしますけども、滑り安全率自体はですね、改良地盤2の先ほど一覧表でお示しました。
0:26:45	cφを使って滑り安全率を算定してございます。以上です。
0:27:14	規制庁ナイトウですけど、ちょっと細かい話に先に言っちゃっているのでちょっと戻して、そもそもね、論理構成の確認をしたいんですけども、
0:27:28	一/二千を上回る場合について成立で一/二千を判断基準にするということで今回はしているんですよ。前の判断基準はどうするんですか。
0:27:40	59分の1という傾斜が出ますっていう扱いを
0:27:45	今度は変えるんだけどそれはどういう理由で変えるんですか。
0:27:53	はい、中国電力のカシマです。こちらにつきましてはやはり先般の議論を踏まえまして、より現実的に近い物性の評価のほうが妥当であるというふうな考えを見直しましたので、
0:28:08	とこうか改めて出てきた158分の1の対応の性能型として見直していきたいというふうな考えております。以上です。
0:28:18	ね、規制庁においてですけども、より合理的な値にするという話だと全部変えなきゃいけないんだけど、ここだけ変える理由なんですか。

0:28:28	より合理的な数字を使うというのは全部書いてください。
0:28:36	すみません、中国電力のカシマです。今回改良地盤に
0:28:42	ていうのを適用できるのはこの逆Tを経キーの直下の
0:28:46	改良部分なので、我々としてはすべてこの物性で見直した計算を降下おつけしたというふうに認識しております。以上です。
0:28:56	規制庁のナイトウですけれども、変更する理由がより上に実際のものに近いもので効率的なやつを使いますっていうのであれば、じゃあ保管所も森の物性値をそのまま使ってるやつがあるんだけど保守的にいって、そこの小京都やって考えられてるんですが、そこをまず説明してください。
0:29:31	すみません中国電力カシマ申し訳ありませんでした。ちょっと語弊がありましたけど、今回の傾斜の評価に関しまして出てきた前回の 59 分の 1 というところがですね、やはり現実から少し乖離しているというふうに
0:29:46	考えましたので、先ほどすみませんあのすべて起きましたけれども、経営者に係る部分の基地地盤についてはですね、やはり改良地盤の物性を見直したほうが良いというふうに判断をしまして、見直しを行ったという認識でございます。申し訳ございませんでした。
0:30:09	規制庁ないですけど、全体としての整合性の中でどういうふうに考えてるかちょっとよくわかんないんですけど、なんでここだけ変えるんですか。
0:30:27	はい、中国電力のカシマです。今おっしゃられた 17 ページでいきますと、改良地盤の 1 と 2 という二つがあって、このうち 2 だけを変えて一応変えないのかという。
0:30:42	ことの趣旨のコメントかと理解してございます。ちょっとすみません、今回抜粋資料ということで、資料のほうが見えてないんですけどこちら改良地盤 1 といいますのが 1-12 号機。
0:30:57	防波壁の前面の多重防護鋼管杭式擁壁、こちらの杭基礎のところ前面にですね一部汎用わずかではありますが、改良した事務局はございます。こちらにつきましては、°C性の滑り安定性に寄与するような部分ではございませんので、
0:31:16	今こちらについてはですね周辺のiPhone閉める埋戻だと同様の物性ということで評価をしているという考えてございます。
0:31:24	以上です。
0:32:16	規制庁ナイトウです検討、もう
0:32:20	公立さあ杭式のやつでもって底面土工改良してるやつとかはきくんだけれども、聞くはずなんだけれどもそれは変えないってことね。だけど、
0:32:30	同じように聞く聞いている。
0:32:33	記事だけ変える。
0:32:39	ということですか。

0:32:43	はい、中国電力カシマです。すいませんちょっと本日お見せできる後ろの添付していただく大変申し訳ございません。多重鋼管ぐ意識を平気で改良引っ張ろうしているところがですね、杭基礎の
0:32:58	根元の前面の一部のところでございます、支持しているところはすべて岩盤になってございます。
0:33:05	ですので、評価上はですねこちらをずりとして評価することはですね、やわらかいもので岩盤口側をされるということなので保守的な評価にはなっておりますかと思いますが、この範囲が非常にごくごく限られたわずかなところですので、
0:33:22	こちらについては、
0:33:24	臭くずりと同じ
0:33:26	℃で今代表しているというのが実態でございます。以上です。
0:34:11	規制庁波返し擁壁の下の改良地盤はこれは一応使って、
0:34:21	中国電力のユリです。すいません波が非重力擁壁の下の改良地盤につきましては、17 ページで言うところですね、下から3行目の
0:34:31	と改良地盤過去高圧噴射攪拌工法ということでちょっと工法自体の違うものでして、こちらPS検層で周辺岩盤相当で改良していることを確認しておりますので、その周辺が外の物性を流用しております。以上です。
0:34:51	ね、規制庁においてですけれども、一般に改良地盤が発生してるんで、どれがどの物質なのかってのが全然対比できないので、そこをまずきちんとわかるようにして、
0:35:02	り、
0:35:03	ていうってこれ改良地盤で123と。
0:35:08	基準のところをやるんだけど、これ123それぞれどのぐらいの厚さにするんですか、それによって解析結果全然変わりますよ。
0:35:15	何でその象限が入ってないんですか。
0:35:28	中国電力のユリです。
0:35:31	すみません、14ページのほうにモデルルーデンで大体どのぐらいの厚さでええと改良地盤の123を設定しているかというのが記載しておるんですけども、こちらの朝自体のちょっと記載を以下抜けておりましたので、
0:35:46	すいませんPS検層の結果に基づいてこういった厚さも設定しておりますのでそちらもあわせて今後の資料で示していきたいと思います。
0:35:56	申し訳ございませんでした。以上です。
0:36:03	規制庁の後ですけれども、刀禰先からPS検層の結果とかいうんだけどそれって設計技術者ないよね。これって、

0:36:13	設計値もEC監査中でもいいんだけど、これって成立性ってどうやって説明されるんですか。
0:36:19	この設計値で、
0:36:21	物性を管理できるんです。
0:36:24	というのは何をもちて説明されるんですか。
0:36:37	すみません、中国電力のカシマです。こちらあの改良仕様としては同じ改良の強度でですね、目標改良共同で改良してますのでしようとしては一緒なんです、その後の確認のPS検層した結果、
0:36:53	ある程度深さに拘束圧に依存する形でですね、徐々に深くなるに従って、VP物販Vp、VpVsが変わってくるという結果をですね、モデルのほうにも反映したものでございます。若干今回の結果ですとか、PS検層の結果が、
0:37:10	浅いところにもちょっと深いところのほうで一部逆転している結果になっておりますが、これは血管気密検査の試験結果ということで、特に改良仕様がこの間で変わっているというようなものではございません。
0:37:32	きちっとナイトウですけど、それって設計値じゃないっすよね。
0:37:39	はい、中国電力カシマです。すみません、こちらは誤記あの表現のほうがちよっと誤解を招くことになっておりましたこちらについてはですね、他の被圧し記載と同様にですね、資金名ということでPS検層結果に基づいて設定したということがわかるものをですね。
0:37:56	修正させていただきたいと思います。以上です。
0:38:10	規制庁のですけれども、
0:38:12	えーとね、PS検層結果で何で強度特性なりが出てるんですか。
0:38:35	もうちょっと言うと、これは施工実績に基づいて、これで全体を管理しますということのように聞こえたんですけど、であればでも施工実績ルールだとPS検層結果ですっていう形でPS検層結果で今日強度特性なり、変形特性なり、
0:38:53	どうやって出してるんですか。
0:38:57	中国電力のユリです。基本的には一般式による換算式によって
0:39:05	時ごろベース事情で算定してそこからいくつかの式を使ってとCoφを出すような形になっております。
0:39:14	以上です。
0:39:24	規制庁側のですけれども、設置
0:39:27	という値というかね、これの地盤の物性動的替え動的物資一応どういう考え方でどう設定したのかってことをきちんと書いてもらいたいとその妥当性が判断できないです。

0:39:43	すいません中国電力のユリです。はい。先ほど口頭で何度か御説明していることですね、すみません資料化できておりませんので、資料化して御説明したいと考えております。以上です。
0:40:04	規制庁のですけど、あとこれ薬液注入って何薬液れてるんです。
0:40:17	中国電力のユリです。今回の資料におつけしておりませんが、前回の一連の資料の中で補足説明のほうにですね、防犯域の構造成立性に関わる資料抜粋で添付しております。その中に記載しておりますけどもセメント系の固化材料で、
0:40:35	地盤改良しているというふうに記憶しております。以上です。
0:40:41	既設のナイトウですけれども、ね、説明があつてこんなついで、地盤の物性値をこういう形で設定してこれを
0:40:53	実際の
0:40:55	普通はこれから多分工認公認でちゃんと浅層部設置に基づいて詳細設計しますと言ってるんだけど、じゃあ、
0:41:06	それにそごのない形で、どういう形でもって計算をしているのかというのがあった上で、それに基づいてやったときに成立性がありますっていう話ですよ。なんで設計するの成立性の話があるから物性値こうですってなるんですか。
0:41:20	それって本末転倒ですよ。
0:41:23	それは認識されてますか。
0:41:30	はい。この中国電力のカシマです。はい。おっしゃりたいとこの 11 ページが先に聞いた上で解析用物性値がこれに基づいて設定ということが説明として比較になっているというご指摘だと思います資料としてですね。
0:41:46	この 1311 ページを頼らずにですね、この改良地盤の剛性を文献でありますとか慣用値試験結果に基づいて設定したというふうにはですね、資料のほうの構成を適正化したいと思っております。以上です。
0:42:02	今後、
0:42:03	規制庁の後ですけれどもっていう、これももっともっと細かい話になっちゃうんですけど、これでね、極限支持力ってどうやってましてですか、1.2 で変わらずとしてるんだけど。
0:42:16	こん繰り入れて完了するんですよ。
0:42:26	はい、中国電力のユリですよ。おっしゃられてるのに 15 ページに記載の支持力の一番右下のところの評価基準値 1.2 だと思います。
0:42:37	こちらは前回埋戻しってということで、保守的にそうしますということで説明したものでちょっと今回も書いておりませんが、経営者に関わる場所じゃないんでっていうことですね、今回見直した結果でも 1.2 を

0:42:54	上回らないってということになりましたので、こちら保守的な評価ということで、そのままにさせていただきます。以上です。
0:43:02	期中ナイトウですけれども、あっちは物性値このブックこっちはこの物性値ってやめてくださいそれ。
0:43:09	全然、
0:43:11	地盤としての
0:43:12	特性を、
0:43:14	ちゃんと
0:43:18	セットした形で入れてもらいたいんですけど。
0:43:28	中国電力カシマです。こちらの扱いについて改めてちょっと持ち帰って再検討させてください。以上です。
0:43:37	規制庁ナイトウですけれども、話を聞いてとわかったようわかった。
0:43:43	ただけれども、結局一/二千を満足することを確認するんだけど一/二千を満足しない場合については設計の妥当性確認して詳細確認をした。
0:43:58	設計の成立性があるから、問題がなくてその詳細については詳細設計でやりますと、何故かっていうと、全応力でやるときについてはアンカーとかはモデル化できないから、そういうのも含めて、どっちにしろアンカーのホースとかも含めて検討しなきゃいけない話だから総称させ、
0:44:17	でやるんですけどっていう全体の流れは理解するんだけど、その流れが考え方がどこにも書いてないので、
0:44:28	口約束にしかなくてないのでそこをそこが、
0:44:32	設計として問題がないとして工認にゆだねるんですけどっていうところの論理構成なのでそこはまずどういう考え方なのかって言う電力としての考え自分たちの設計の考え方をしっかり書いてもらいたい。
0:44:45	それはまずよろしいですか。
0:44:48	はい、中国電力カシマです。承知いたしました。
0:44:54	その上で、だから地盤の物性としてはこのT字のところについてはこういう物性に今実際工事してるんだけど、数値持ってないから、こういう物性値を0から結局は管理をすることによってそれを後段規制の中で、
0:45:13	それを維持するような形で時ってしっかりと実際の物性値出した上で足りなければ、それを再改良なり何なりもするっていう、そういう流れっていう理解でいいですか。
0:45:27	はい、中国電力カシマです。おっしゃる通りです。同じにさせていただきます。以上です。はい。普通考えればそうなんだけど、そういう設計の考え方がどこにもな

	くって結果こうです、どうでしょうなっちゃっているのですこはしっかり書いてもらえませんか。
0:45:43	はい、中国電力カシマです。承知いたしました。
0:46:20	規制庁ナイトウですけれども、その上でこの 158 分の 1 という数字の扱いをどうするんですか。
0:46:27	そこがよくわからないグラウンドアンカーをモデル化しないでこういう形になってるけど、実際の設計グラウンドアンカー入れますのでその本数についてもちゃんと詳細設計で
0:46:39	考慮した上で、工数も含めて強度も含めて設定をしますって話になってるはずなんだけど。
0:46:45	その流れの中でこの 150 分の 8、158 分の 1 の数値の扱いはどうされるんですか。
0:47:06	はい、中国電力のヨシツグでございます。
0:47:09	今回のこの基礎底面の一/二千よりも大きな経営者につきましては、今現状ちょっと整理をしているところなんですけれども、4 条のほうのまとめ資料の中で、三条の結果をお受けて、
0:47:24	そこに 158 分の 1 という数字が出てくると、江藤。
0:47:30	設置許可の中でのコード整備してについては確認を行って一応しましたとグラウンドアンカーがない状態であってというものでございますので、
0:47:40	この 158 分の 1 を受けまして、それを詳細設計段階に行ったときにも所 58 分の 1 っていうのは、設計条件のものとして引き続き形になるというふうには今も考えております。もう少しちょっと四条側の資料の整理のほうを今、
0:48:00	しているところですが、そういう考えで今考えております。以上です。
0:48:12	規制庁お尋ねよくわかんなかったんですけど。
0:48:14	法令ね地盤の結果として、
0:48:19	傾斜を照査した結果として 158 分の 1。
0:48:23	の傾斜が出てます。
0:48:25	として一定でその設計の成立性は確認をしました。
0:48:30	という中で、じゃあ、設置許可として 150 分の 8 っていう数字が残るんだけど、地盤としてのね、これはどういう形にして、設計方針なり、
0:48:42	詳細設計に引き続くんですかってことなんですけど。
0:48:49	はい、中国電力のヨシツグでございます。
0:48:54	35 万出てきた傾斜につきまして 4 条のほうで一/二千を超えるものについては、
0:49:02	詳細設計段階にそれを考慮した設計を行うという基本設計方針を

0:49:08	つけようと考えておりますこれは柏崎先行サイトもそういった形で四条のまとめのほうで記載をされております。
0:49:18	下の一/二千を超える傾斜についての設計方針を4条があり、ついてはさせていただきます、その中で後任のほうに引き継いでいくと。
0:49:29	いうことを今考えております。
0:49:31	以上です。
0:49:33	規制庁ナイトウですけれども、柏崎のやつは見られていますよね、柏崎のやつはこの傾斜を荷重にK入れた形でもってやりますとで、それ考えたときについても設計の成立性があるんです。
0:49:48	ということを示し、設置許可の中で示しているんですよ。それを
0:49:53	それで150分の8
0:49:57	158分の1の扱いを
0:50:01	中国電力はどう扱おうとしてるんですかってことなんだけど。
0:50:05	いや、一/二千を超えているか詳細設計で、
0:50:08	そこ碎石行く前に目安を
0:50:15	クリアできてないんだけど。
0:50:17	それに対してどうするんですかっていうところをちゃんと言ってもらわないと。
0:50:23	許可できないんだけど。
0:50:25	どうされるんですか。
0:50:54	すいません中国電力のヨシツグでございます。
0:50:57	ちょっと
0:50:59	私が少し勘違いをしていたかと思うんですが、
0:51:04	今ナイトウさんがおっしゃられた158分の1についての構造成立性を設置許可例、今資料上出していないというところをにつきましては、
0:51:15	遠い。
0:51:16	前回会合では58分の1ということで整理しているの確認をしておりますそのところを、
0:51:24	少し今度は58分の1での成立性の結果を
0:51:29	つけるということになると考えております。その辺、私の回答でやっていましたでしょうか。どうぞ。
0:51:39	規制庁のエザキですけど、全然。
0:51:42	すれ違ってます。
0:51:45	いわゆるですね、
0:51:50	ナイトウ調査官が言っているのはまず

0:51:53	柏崎では 1600 の部分の 1 戦略部の位置っていうのを今度引き続いて荷重として見ますよと。
0:52:01	してるわけですね。それって基本的には原子炉建屋とか等の話になるので、
0:52:07	基本的には地盤の傾斜等、
0:52:10	オオノに関しては、特にモデル化はしませんので、
0:52:14	失点系モデルにおいては、
0:52:17	そういうことから考えればそれは荷重として加えればいいということになります。一方で、皆さんが前回言ったように、有効応力解析し直すと、これが多分 1580、158 分の 1 でなくなっちゃうわけですね。
0:52:33	いわゆるこの有効応力解析の結果 250 分の 8 っていうのを 158 分の 1 っていうのを荷重として入れるんですかって言ったらノーなんですね。で、実際にそれを解析するってことも、
0:52:46	できないわけですね。
0:52:50	あわせてこと間違ってますか。
0:52:55	はい、中国電力のヨシツグでございます。今江崎さんがおっしゃられており、過重としてかけるというのはなかなか難しいというふうに考えており、ヨシツグさんが言っていることは、まさにその矛盾したことを言って結局こうにてエース解析方法とか設計方法がないわけですよ。空襲 5 なんだよね。
0:53:16	で、
0:53:18	例えばですけどセックの方から話はちょっと出ておりますが、地盤改良を
0:53:25	通常で言えばですね一つの例で例示で言えば液状化ってよくありますよね。だから、
0:53:31	それ議長か特性を適切なものを取得して有効の解析をするとした上で、あと施設の安全機能を損なわないように設計するって話になると思うんですけどそれに近いものがあると思うんですね今回は、
0:53:46	いわゆる今回得られてるんないのは何ですかっていう話でさっき調査官後調査が入ったように、
0:53:55	正規の値として、この設置許可で安定性を検討するだけのですね、根拠のある物地盤高高改良地盤、
0:54:04	2 の物性値はやられていないことと、あれですね。
0:54:09	アンカを
0:54:13	解析の物理的にモデル化できないという、どうしてもできないというものがあるということ。それと、
0:54:20	逆T応益の低迷等地盤との幅なりはこれは非線形
0:54:25	ジョイント要素が非線形解析ですから、

0:54:28	線形解析のフラッシュじゃできないってということもあって、そういったものをどこまでを一つの雨にするか。
0:54:38	は、そちらの考え方次第でしょうけど、そういったものも含めてきちっとを公認で設計して、基本的には大きな経営者に対しても安全機能を損なわないというそういう目標を立てるといふ。
0:54:50	ことだと思ふんですけどもそれに対してはある程度見通しを立ててるといふことで見通しがあったからオッケーだということではなくて、そういった方針がある程度見通しが立ってるってということだけの話で、
0:55:02	. 6 に書くような話ではないと思いますし。うん。
0:55:07	そういったような数字が気になるのかなと思ってはいるんですけど。
0:55:11	ここまでそちらはどう考えるかっていうのがですねちょっとよく見えないんだけど。
0:55:16	ただ、
0:55:18	158 分の 1 を先送りしますとこうには言ってるんですけど、どういうふう先送りできるんですか、可能なんですかという話があるんですね。
0:55:32	505、18 分の 1 といったものが一つの司法にするのであれば、それなりのやっぱり
0:55:39	そう数字としての妥当性、いわゆる入力条件の妥当性を求められると思うんですが、その辺の考え方もちょっとまだ
0:55:47	整理ができてないように思っても思ってます。
0:55:50	この辺でどういうふうに
0:55:53	お年を落とすところを考えているのかってのはちょっと見えないんですね筋書きとして、
0:56:00	そこを今まで今日ですね審査官調査考えてるわけで、この辺に対してはどう考えてますか。
0:56:09	お答えください。
0:56:15	中国電力の清水です。ちょっと繰り返しになるかもしれませんが今回の核になるかもしれませんが、今ナイトウさんエザキさんおっしゃられたのは、本日の説明資料の 36 ページで補足説明資料の中で構造成立性を確認したけれどもこれはあくまでも
0:56:35	公立構造成立性を見通しであって、この 158 分の 1 になる数字をどう公認段階に引き継いでいくかという具体性をこの設置許可段階の中でお示しすべきだという御意見と理解すればよろしいでしょうか。
0:56:53	こちらのエザキです。全然わかってないようですね、いわゆるですね。
0:56:59	ある程度プリンから言ったときに、まだ

0:57:03	今実際これ施工した。
0:57:05	部分もあるんでわかってるわけですけど、実際にこれが新設だったらどうなるんですが、まあ地盤改良もしないわけだから数値も何もないわけですよ。
0:57:15	そうすると、
0:57:17	ある意味、17 ページの数字っていうのは、factorなればですね工認でなくて、ある程度、
0:57:25	施工試験なり、基本的にはあれ実際に
0:57:30	部分的には足場試験施工等をしなければ出てこないっていうこともあるようなものだと思うんですよ。
0:57:37	そういった許可ではfactorのものに対してどういうふう
0:57:41	宣言するっていうか約束するんですか、そこはと思うんですよ。
0:57:46	考え方は、
0:57:48	先ほどからいナイトウ調査官からもちょっと
0:57:53	聞かれていたと思うんですが、
0:57:57	ある意味、
0:57:58	例えば、
0:58:00	このようなかたいもの現実的につくれるわけですよでつくれるものに対して
0:58:07	それ以上のものを作るという。
0:58:09	一つの確約あって、
0:58:13	この傾斜に対して、
0:58:18	機能は保持できると言ったような立て付けになるのかなと普通は新設では思うんですけど、この辺はいかがでしょうか。
0:58:31	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:58:35	イマイさんおっしゃられた通り、
0:58:37	親切にある場合には、こういった改良地盤はあくまでもやはり、隻1である程度見込んだものでやって来二段階後潮間イトウですね、その試験値、実際の資金を取って、
0:58:54	できる、それ以上のものが出ているとかそういったところで確認をして説明していくという流れだと私も思っております。以上です。
0:59:13	規制庁ナイトウですけど、だからその辺をどうふにするかっていう方針が何にもわかんないんですよ。だからこれ 158 分の 1 ってなってるけれども、これも計算のモデルイタリアの結果を見てないから出てないからわからないけど、
0:59:28	多分始めてるんですよこれ。
0:59:32	おそらく、

0:59:35	ねえ。だからそれを何故かっていうと、アンカを考慮できてないからモデル事業を考慮してないかなっていうとこもあるし、そういう中で、
0:59:43	この
0:59:44	この解析結果を、こういうものであって、それを考慮した上で、
0:59:50	どうすんのかっていう
0:59:52	詳細設計の段階で、この状況を踏まえた上でどうするんですかっていう方針が見えないんですよ。
1:00:03	158 を正としてやるっていうやり方もないわけじゃないけど、聞いている限りの言ったそういう掘やり方を試行しているようにも思えないし、
1:00:13	ジョイント要素にられないことを解析の結果を整理するって話も、
1:00:18	技術的にはあほらしい話だし。
1:00:21	どうされるんですか。
1:00:40	中国電力シミズです。本日の資料のですね 36、33 ページをちょっと見ていただければと思います。
1:00:51	ポツの三つ目のところに書いていますしですが施設の詳細設計段階においては継承考慮した場合においても施設の機能を損ねないように設計するといった表現の中でですね先ほど私の理解ですけれどもナイトウ 3 エザキさんからのコメントを反映すると。
1:01:11	本日お示した地盤改良の物性値今回、今回この根拠とは別にオダを示しますが、その物性を確保するということを簡単に言えばお約束した上で、必要なアンカー力、
1:01:27	イトウもですね等考慮した上でそういう施設の機能を損なわれないことを設計設計段階でお示しますというような趣旨のコメントを記載をですね、させていただければなというふうに考えております。以上です。
1:01:46	規制庁ナイトウですが、ずっとね、ここの部分に 33 ページのここの部分を詳しくしろって言うだけでこの考え方はわかるんだけど、この考え方の内訳はどうなってるのかってきちんと別に書いてくださいって言うんだけど。
1:02:03	それとも、既設のそれともですね、走向 58 分の 1 と 158、8 分の 1 の扱い、それと、
1:02:11	17 ページの敷設の扱い。
1:02:14	考え方っていうのが全部そこに流れが関係してくるわけですねナイトウ損ねだからそだそう一部そういうふうな方針を
1:02:24	決めて書いた上で、これの扱いがどうなるのかっていうことを考えたほうがいいんじゃないですかね。
1:02:35	IT意味わかりますか。

1:02:37	いわゆるここい今言ったシミズさんが言ったような流れにしたときに、
1:02:43	17 ページの新たに得た物性値と昔の物性値と毎回した物性値と、それと、
1:02:50	傾斜が今回と前回と変わってるわけですから、阿蘇 2 種類あるわけですよ それが実現がどういうふうな位置付けになるのかっていうのは、もう一度ストーリーを組み合わせた計算しましたって持ってくるじゃなくて、どういう 1 人で組み立てて、
1:03:06	この設置許可は 5000 とか基準に適合してるといえる説明になるのかというのをストーリーを組み立ててくださいと。
1:03:16	いうことなんです、全体の流れとしてね。
1:03:19	今のままだと
1:03:21	単にこういう数字が出てきましたという事でしかなってないので、数字っていう信憑性は何なんですかって話になってしまうけれども、
1:03:31	もうそちらとしては、まだこれは工認先送りして、
1:03:36	まだ、
1:03:37	検討の余地があってそこを改善した上でちゃんと間安全機能を確保する設計としますという話になっているんですけど、そういったもんが何かかみ合っていないですよ全体のストーリーとして、
1:03:53	私の言ってる内容をご理解いただけていますでしょうか。
1:04:02	規制庁ないけどもうちょっと言うとね。
1:04:05	いや、刀禰物性値がちゃんと出てないからって言ったら弱許可の段階で物性値ちゃんととった上でやりますっていうのもあるし、
1:04:13	もしくは物性値なりこの今の設計の考えこういう高校なので、こういうことをやっていくのでせつかくこの設置許可と言っている評価の範囲内に入ることが説明できるので、工認側で詳細にやりますっていうやり方もあるし、
1:04:30	どうもここ後段をやろう、やろうとされているんだと思うんだけど、であれば、ここで出ている物質はこういういやいや全部じゃなくて今やってるところで、どういうデータに基づいてどういう考え方でやっているのかこの物性値としては実現性があるんですがないんですかってのまず先生
1:04:50	説明した上で報告でこれからやる場所もあるだろうし、全部が全部測定できてるわけじゃないだろうから、そうしたらじゃその部分について、この物質の関係でどうするんですが、これ管理値にするんですか目標値にするんですか、どうすんですか。
1:05:06	その考え方がようわからないし、
1:05:09	そのうえで傾斜としては今 158 分の 1 出ているけれども、これはモデルルーム応答計算のやつでどういうふうな

1:05:19	傾斜で結果になってるの方ちょっと見せてもらおうとわかんないんだけど、おそらく前の 59 分の 1 と一緒に始めてるはずだと思うんだよね。
1:05:30	違うんですか。だとすると、アンカをモデル化してない部分の影響がかなり大きくなってなんかを入れることによってもっと経営とこれ地盤の傾斜というのを出してるのは底板の傾斜だから、
1:05:43	その影響も考慮した上で詳細設計できちんとやりますっていうんだったらそう書いて欲しいし、どういうふうにしようしてるのかが全然見えないんですよ。
1:05:55	設置許可を取った後に工認とかでも設置許可との整合性を示唆しなきゃいけないんだから設置許可との整合性が成立するかどうかなのかって見ないと許可も出せないですよ。
1:06:18	やはり中国電力の清水です。東翼 1 理解できましたけどちょっと今すぐ頭にですわねこういう資料でやったらどうかっていうのをちょっと思いすぐには思い浮かばないので、今いただいたコメントをですね今後資料化させていただければと思います。基本的には、
1:06:36	設置許可段階から工認段階に向けての一気通貫の我々のシナリオですね。物性それから出てくる傾斜、それからモデルの話も含めてですね、なんていうんすかね流れがわかるようにですね、当を設置許可段階でお示しするところはここ
1:06:56	ですというのがわかるようにですね、ちょっと資料化を工夫してみたいと思います。
1:07:02	よろしくお願いいたします。
1:07:58	規制庁クマガエです。
1:08:00	ちょっとまた
1:08:02	話し方細かい話ちょっと確認します。
1:08:08	どう。
1:08:09	17 ページのところについては、先ほど
1:08:14	どこの改良地盤をですね、どういう値を使うのかってちょっとちゃんと整理してくれていうのは、ナイトウ調整官からもお話あったんですけども。
1:08:24	※6 のところですね。
1:08:26	10 鋼管杭式及びFTを駅周辺土地改良地盤を示せるとかって書いてあるんです。これ前は、
1:08:34	直下の
1:08:36	改良地盤とあと、
1:08:38	追加改良地盤とあってあったんですけども、これ。
1:08:42	直下の改良地盤の取られてるんですが、これ。

1:08:45	追加改良地盤というのはその多重鋼管杭擁壁でも新たにできるのでしょうか。そこできるとすれば、ちゃんと示してもらわないといけませんし、
1:08:54	そこら辺のですねその整理をちゃんとするようにしてください。
1:08:58	あと、
1:09:00	※11 のところですね。
1:09:03	詳細の設計方法については、
1:09:08	補足説明資料に示すってあるんですよ。これ※11 っていうのはどっかにかかっているのでしょうか。
1:09:14	これについて教えてください。
1:09:21	はい、中国電力のユリです。改良地盤のその位置関係とどの年を適用するかにつきましてはわかるように整理したいと思います。あと、※11 がどこかにかかっているかっていうのがちょっと今、ここでかかっているようになっておりませんので、
1:09:40	解析用物性値のあの箱書きの上かどこかに書けるのかと思うんですけどもちょっと適切な位置で検討したいと思います。以上です。
1:09:50	規制庁クマガエセンターやり直しあればそこなんだろうかとちゃんと整理してください。
1:09:54	あと 33 ページのところ、
1:09:58	そこで説明あったかどうかちょっとわからなかったんで、傾斜方向が
1:10:04	逆T大きなところ変わってるんですけども。
1:10:08	ここら辺はどうして変わったんでしょうか。
1:10:28	中国電力のユリです。ちょっと今、
1:10:33	ちょっと確認をしたいと思います。以上です。
1:10:41	規制庁クマガエです。
1:10:42	続いて、
1:10:44	35 ページのところですけども、
1:10:47	これはまとめということで、いろいろと条文整理されているんですけど。
1:10:53	これは
1:10:55	三条 1 項の 4 ポツ目のところで貿易 100to についてはっていうことで、
1:11:00	評価基準値の目安を超えたためとあるんですけど。
1:11:03	この評価基準値。
1:11:05	テーマ幾つかある中で、これ多分、傾斜の話だと思うんですが、何つうについての
1:11:12	評価基準値の目安を超えたのかっていうのは、
1:11:15	ちゃんと示していただきたいのと、

1:11:18	これマツスエ経営者であればですね。
1:11:20	三つ目のポツで、
1:11:24	同定解析の結果に基づいて求められた基礎底面の傾斜が評価基準値の目安を超えないことを確認したあったんですけども。
1:11:31	そん中で逆Tキヨキについては、
1:11:34	いやそう超えているので、これまとめ。
1:11:37	になってるんですけども。
1:11:39	文章が
1:11:41	それぞれ相反することが書かれているので、どういうふうになってるのかでちゃんとまとめていただきたいんですね、指定するようにしてください。
1:11:51	あと、
1:11:53	細かい話ですけど。
1:11:56	三条第2項が連続して出ているので、
1:11:59	参考のところは参考にしている。
1:12:02	参考であれば参考にしてください。
1:12:06	いかがでしょうか。
1:12:09	はい、中国電力のユリです。期生のほう適正化したいと思います。以上です。
1:12:28	規制庁タニですけど。
1:12:30	これ代表断面の検討対象断面の選定っていう時に何かのこの選定するにあたっては、むしろ滑りに着目してたような
1:12:42	選定をしたと思うんですけど、この傾斜を考えても、この選定した断面で、
1:12:49	いいのかどうなのかとか、その辺考えありますか、例えばここよりもちょっと盛り度が厚いところとか、森梅本人が厚いところもあったと思うんですけど、この断面でいいっていうふうに考えているのは、
1:13:04	お考えを教えてください。
1:13:17	はい、中国電力のカシマです。
1:13:20	今のおっしゃられたような気は
1:13:24	支持性能でありますとか傾斜といったところは、支持地盤直下の地盤の部分で決まると思っていますので、岩盤に支持されているところであればですね、多少周辺の森の影響というのは軽微だと考えておりますので、
1:13:40	今滑りを着目して抽出しておりますけれども、この結果で放管されるものというふうに考えております。以上です。
1:14:16	タニです。今の説明をするセンター指示の杭があるから、その岩盤が岩盤に着目して選べてたらしいんだっていう説明なんですかね。

1:14:31	中国電力カシマですすいませんちょっと語弊があって、すみませんやるよう直ECのことであるとか、通常の発光型の建物系のことをちょっとイメージして申し上げたところですが、いずれにしても、施設の基礎、基礎の直下のところにですね。
1:14:47	シームなり、そういうものがあるところが滑り安全安定性も厳しくなりますし、C CFLといったところ、また傾斜といったところでも影響あるかと考えております。そういった上で観点でいくとですね、やはり
1:15:02	基礎の直下の上端版の状態抽出していることとあわせて反応度関連法の結果を見た上で抽出したため、こちらですすべりに対しても傾斜指示に対しても、代表できるのではないかというふうに考えております。
1:15:19	以上です。
1:15:28	パターン2です。すいません私の理解がちょっと足りなくて、基礎っていうのはどこのことを今言ってるんですけ。
1:15:36	はい、中国電力課長です。今私が申し上げたのはの施設直下の支えるところ部分のことを申し上げたところでございます。以上です。
1:16:07	規制庁タニです。それは経営者を検討するときに、盛どの厚さっていうのは関係しないっていうことを言われてるんですか。
1:16:22	逆T擁壁の下の森どの厚さをこの解析にも関係ないんですか。
1:16:45	中国電力のユリです。うめどの厚さ、変わるのが一番逆Tを平気で深いところとですね、今回動解断面に選定したところと数メートル程度の違いでございますので、
1:17:01	経営者に対しては、さほど影響するようなものじゃないかと思ってます。それよりもですね、シームのありなしというところで代表断面決めてありますけども、滑り安定性への影響が大きいと考えて今動的
1:17:16	解析の断面やも選んでおります。その結果としてさほどその傾斜については影響というか違いがないでしょうから、今の動的解析の断面で代表できると考えております。以上です。
1:17:34	規制庁タニですけどもりどの数メーターの罪は、
1:17:38	えっと関係ないんだっていうのが何か。
1:17:43	それは本当なんですかというか、ちょっと考えをですね。
1:17:49	示して欲しくて、いや、あの滑りのすべてに着目して、この1111'断面を選びましたっていうのはちゃんと書かれていると思うんですけど、傾斜に関しても、これでいいんですっていうのは、
1:18:04	何か追加でちょっと超えてもらったらいいのかなというふうに思います。
1:18:09	よろしいですかね。

1:18:19	中国電力のユリです。承知しました考え方を記載するように追記するようにしたいと考えております。以上です。
1:18:28	はい、お願いします。
1:18:37	規制庁のマツスエです。ちょっと今日の資料じゃなくて前回の
1:18:44	2月24日の資料でちょっと確認したいことがあるんですがよろしいですかね。
1:18:51	はい、中国電力カシマです。お願いします。90ページに
1:18:59	34条対象。
1:19:01	施設と38条39施設対象施設が
1:19:07	示されているので、これで
1:19:15	支持地盤とか斜面の対象施設というのが、
1:19:20	何となくわかるんですけども、
1:19:24	中国電力の清家です。申し訳ございません。ちょっとそちらの資料のページからもう一度確認させてください。
1:19:32	PE-081、
1:19:36	2月24日の
1:19:40	999ページ10ページ。
1:19:44	すいません、90ページじゃなくて9ページ10ページにそれぞれ
1:19:49	耐震重要施設等を重大事故等対処施設の
1:19:55	区分というか対象施設が明示されていて、
1:20:04	地盤支持とか、滑りとか、
1:20:08	その対象施設というのはこれを見る場合一応わかるんですけども、
1:20:15	斜面については、これをちょっと飛んで220
1:20:20	3ページ。
1:20:25	これ斜面の選定されて、赤く囲ったやつを
1:20:31	評価対象斜面というふうに評価されてるんですけども、
1:20:38	対象施設が1食で塗られていて、
1:20:44	これが三条、四条対象なのか3839条対象になろうかの斜面の区分がちょっとできないので、その辺をちょっと整理して資料をつけていただけないと思うんですけどもいかがですか。
1:21:04	はい、中国電力のユリです。と223ページの今赤い色で職員のられております耐震重要施設等の常設重大事故対象施設、この内訳がわかるような資料付けしたいと思います。以上です。
1:21:18	で、もう一つ、次の224ページに、
1:21:26	223ページにも離隔距離で3種類の基準が示してあるんですけども、

1:21:34	図面のほうでは赤く枠を対象だ断面最初斜面から外した理由として、どうもこの離隔距離が示されているようなので、
1:21:48	それはそれでいいんですけどもこの 50 メーター
1:21:52	全斜面 50 メーターより近いのは選ぶようとか、
1:21:56	自然斜面切取斜面妥当高さから 1.4 倍だよとか森土砂の 2.0 倍であると。
1:22:03	223 ページはそう書いてあるんですけども、224 ページのほうだと。
1:22:09	参考文献が書いてあるんですけども一番右の対象地盤というところとちよつと
1:22:16	ないように 123 ページとちよつと合わないの、その辺ちよつと整理して、
1:22:22	根拠資料との整合がとれるようにしていただきたいんですが、
1:22:34	すいません中国電力のユリです。おっしゃってることの確認なんですけど 224 ページで対象地盤って書いてあるのが、
1:22:43	岩盤斜面も里道斜面あの急傾斜地の確保土砂って書いてあるものと、
1:22:48	223 ページに書いてあります凡例の
1:22:51	前斜面自然斜面切取斜面も里道斜面というところの区分けが対応しないから、ここは対応するように記載の修正をっていうことでよろしいでしょうか。
1:23:02	そ結論的にはそういうことなんです
1:23:07	以下の通り設定した後、文書では書いてあるんですけども、参考文献の記載内容とその対象地盤っていうのが、
1:23:17	ちよつとリンクしてないように見えるので、お願いします。
1:23:25	中国電力ユリです。記載内容と対象地盤がリンクするようにちよつと記載内容をもう少し盛り込むの形になると思うんですけども、修正するのと 223 ページと 224 ページの繋がりということで承知いたしました。
1:23:41	そうですね。特に
1:23:45	もう里道は二倍にするっていうのは、土木学会にはどこにも書いてないので、
1:23:52	ということらしいので。宅地を使うならず、土地を使ったとかその辺をきっちり
1:23:58	根拠を示していただければと思います。
1:24:05	はい、中国電力のユリです。土木おっしゃるように土木学会につきましては森度につきましても 1.4 倍という整理になってるんですけども、一方で宅地の文献のほうに二倍っていう記載がありますので、森について保守的にこちらを使用しようしております。これは先行炉も、
1:24:22	同じような選定をしておりますので、そういったところがちよつとわかるように記載を修正したいと思います。以上です。
1:24:35	以上です。
1:24:36	私からは以上です。

1:24:54	規制庁ナイトウですけれども、
1:24:56	資料今週中出どころ直せますか。
1:25:05	はい。
1:25:08	中国電力のカシマですねと、今週中に何とか、今日いただいたコメントが対応できるように頑張っ参りたいと思います。
1:25:16	以上です。
1:25:18	ねえ。
1:25:23	とりあえず、だから、
1:25:25	59分の1を158分の1に変えるというところの結果としてはね、ところでとか一/二千との関係で保守的に設定したやつなんでここだけ変えるんですかって、多分、
1:25:41	目安クリアしてないから、
1:25:44	っていう話だと思うんだけど、その辺も含めて良いと考え方論理構成をまず整理するっていう話と、さっきエザキさんとかも設定って言ったけども、じゃあこの150分の8っていう結果に対して成立性があるとの説明をされてるんだけど。
1:26:01	いや、この150分の8っていうのはどういう数字であって、詳細設計ではどうふ
1:26:08	今のモデル上考えてないのはこういうのがあるからそれを含めてどう、どういう形でもってちゃんと傾斜があっても問題がない設計とする方針なのかっていうところ。
1:26:22	はそこをまず少なくとも直して欲しいんですけどもそこに直せますか。
1:26:30	はい、中国電力のカシマです。その今おっしゃられた部分ですね、今日のコメントを踏まえて、修正の方進めて参りたいと思います。
1:26:42	以上です。
1:26:48	規制規制庁クマガエです。
1:26:51	WEBExで参加をしている。
1:26:54	ナグラさんヒナガワさんチギラさんも何か。
1:26:57	ございましたコメントをお願いいたします。
1:27:04	規制庁、規制庁のナグラです。
1:27:08	今ナイトウさんが発言した中に含まれているかなと思うんですけど。
1:27:13	私を経験しているのは、
1:27:18	中国電力の今国境を説明のあった対応方針っていうのは、今回158分の1という傾斜が出たことに対して、基本、設計方針をある程度述べてその上で、

1:27:37	設工認つなげていくというところの意識がちょっと急すぎるような印象があつて、今同じ3のほうでちょっと一段だけ同傾斜158分の1という数値は一/二千という見合わせ値を超える
1:27:52	ということに対して、実際それがどうしてそういうふうな数字になっているのかというところの考察をちゃんと加えていただいて、その上で、.6に記載するような基本的設計方針として、
1:28:08	どのような項目が言葉として必要になるのか、そこら辺を明確に言っていたかないと、設置変更許可段階における基本設計ないし基本的設計方針としての判断が、
1:28:23	適切にできないので、そのところは少し重視して考え方をちゃんと整理していただきたいというのが私の所管です。
1:28:34	そこはちゃんとなされていれば、設工認段階で許可との整合性の観点で、基本的設計方針はどのように、詳細設計として具体化されているかというところの
1:28:51	来階層構造が見えてくると思うので、そういう意味で設置許可段階の三条適合に関しての基本的設計方針としての規定の考え方というか、そのところを重点的に整理をしていただいて、
1:29:10	許可段階で最大限の説明ができるような考え方を介護でちゃんと説明して欲しいなと思います。私からは以上です。
1:29:21	引き続き、
1:29:27	規制庁チギラですよ。私の方特にありません。以上です。
1:29:37	ヒナガワするところありませんので、
1:29:41	以上です。
1:29:46	中国電力のカシマです。先ほどナグラさんからおっしゃられたんですが、指摘踏まえてですね、資料のほう、修正を進めて参りたいと思います。以上です。
1:30:26	規制庁クマガエです。はい。
1:30:29	では
1:30:31	いろいろとですね、その地盤及び周辺斜面安定性については確認をさせていただきました。
1:30:37	こちらから確認することは、
1:30:39	ひとまず大学にできたんですが、中国電力から何か。
1:30:43	確認したいことがあればお願いいたします。
1:30:51	記憶電力カシマです。こちらからございません。以上です。
1:30:59	規制庁クマガエです。
1:31:00	それでは、どうしても基礎地盤及び周辺斜面の安定性の

1:31:05	ヒアリングについては以上で終わりたいと思いますけどいかがでしょうか。
1:31:10	はい、中国電力カシマです。承知いたしました。
1:31:21	うん。
1:31:45	それでは、地盤周辺斜面の安定性評価のヒアリングを以上で終了いたします。